

平成30年度事業報告書
(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

I 主要な会議

1 理事会

| 開催日 | 議案等 | 備考 |
|-------------|---|----------------|
| 平成30年4月1日 | 常務理事の選任の件 | 書面表決 |
| 平成30年5月21日 | <審議事項> ① 平成29年度事業報告及び決算の件 ② 定時評議員会の開催の件 ③ 顧問の選任の件 <報告事項> 平成29年度資金運用の経過の件 | 通常理事会 (第1回) |
| 平成30年6月28日 | <審議事項> ① 理事長の選任の件 ② 常務理事の選任の件 | 臨時理事会 |
| 平成30年10月31日 | <報告事項> ① 平成30年度事業報告(上半期)の件 ② 平成30年度資金運用の経過の件 | 通常理事会 (第2回) |
| 平成31年2月4日 | <審議事項> ① 平成31年度事業計画及び収支予算の件 ② 平成31年度資金運用の執行方針及び計画の件 ③ 財団規則の変更の件 ④ 臨時評議員会の開催の件 | 通常理事会 (第3回) |

2 評議員会

| 開催日 | 議案等 | 備考 |
|------------|---|--------|
| 平成30年4月1日 | 理事の選任, 評議員の選任の件 | 書面表決 |
| 平成30年6月28日 | <審議事項> ① 平成29年度計算書類等の件 ② 役員を選任の件 <報告事項> ① 平成29年度事業報告書の内容の件 ② 平成29年度資金運用の経過の件 | 定時評議員会 |
| 平成31年2月12日 | <報告事項> ① 平成31年度事業計画及び収支予算の件 ② 平成31年度資金運用の執行方針及び計画の件 | 臨時評議員会 |

II 事業報告

【公益目的事業会計】

1 屋久島環境文化村構想推進事業

(1) 環境学習

① 自然・文化体験事業

ア 自然・文化体験セミナー

広く全国から参加者を募り、屋久島のフィールドを活用した自然・文化体験学習プログラムを提供するとともに町内外の方々との交流等を行った。

| 名称 | 内容 | 開催日 | 参加者数 |
|-----------------|---|--------------------|------|
| まるごと屋久島研修講座（里編） | | | |
| | 島内解説（西部林道，大川の滝，郷土料理等） | 平成30年4月21日 | 23人 |
| まるごと屋久島研修講座（森編） | | | |
| | 屋久島の自然散策（ヤクスギランド解説） | 平成30年4月28日 | 17人 |
| 親子で屋久島わくわくキャンプ | | | |
| | 火起こし体験，アウトドアクッキング ドラム缶風呂，ヤクスギランドトレッキング | 平成30年5月3日 ～5日 | 13人 |
| 夏の日のエコツアー | | | |
| | 一湊海岸シュノーケリング体験 | 平成30年7月15日 | 8人 |
| 夏休みの大冒険 I N屋久島 | | | |
| | 滝壺スイミング，いかだ下り，野外炊飯等 | 平成30年8月7日 ～10日 | 18人 |
| はじめてのアウトドア島旅 | | | |
| | 屋久島権現太鼓体験，モッチョム岳トレッキング，サイクリング等 | 平成30年9月14日 ～16日 | 7人 |
| 秋を感じるエコツアー | | | |
| | 秋の素材でスイーツづくり等 | 平成30年11月17日 | 7人 |
| ワンコインセミナー | | | |
| | 自由研究に向けた昆虫標本作製 | 平成31年1月13日 | 6人 |
| | 冬の野鳥と羽根ペンづくり | 平成31年1月27日 | 21人 |
| | 大人の炭づくり | 平成31年2月16日 | 17人 |
| | 魅力発見！コケの観察会 | 平成31年3月10日 | 12人 |

イ ふるさとセミナー

町内在住者を対象に、ふるさとの新たな一面を再発見し、その自然環境や文化に対する意識向上等を図るため、屋久島の身近な自然を素材にした体験型研修を行った。

| 名称 | | | |
|--|--------------------|------|--|
| 内容 | 開催日 | 参加者数 | |
| <p><研修センターオープンデー> 親子で楽しめる科学実験等の実施を行った。</p> | | | |
| チリメンモンスター探し、木工クラフト、スライム作り、ジャンボシャボン玉作り | 平成30年6月24日 | 750人 | |
| <p><星空観察会> 星座や宇宙への関心を高めるため町内小学校で星空観察を行った。</p> | | | |
| ・春の星空観察会（一湊小学校） | 平成30年4月20日 | 85人 | |
| ・秋の星空観察会（小瀬田小学校） | 平成30年9月7日 | 53人 | |
| ・冬の星空観察会（八幡小学校） | 平成31年2月1日 | 62人 | |
| <p><子どもエコ隊活動事業> 屋久島の小学校4～6年生を対象に体験的な環境学習を通して、自然環境に対する意識の向上を図り屋久島の未来を担う人材の育成を図った。 今年度テーマ ～エコなキャンプの達人になろう～</p> | | | |
| ・テント泊、ナイトハイク、野外炊飯、ヤクスギランド観察 | 平成30年6月2日 ～3日 | 22人 | |
| ・手作りペンシルルアーで釣り体験 | 平成30年7月16日 | 21人 | |
| ・サバイバル、森食 | 平成30年11月18日 | 13人 | |
| ・エコキャンプファイナル | 平成31年2月23日 ～24日 | 16人 | |
| <p><自然に親しむ集い> 町内在住者を対象に、屋久島の身近な自然のすばらしさを学ぶため、環境省・屋久島町と共催で、自然観察活動や自然体験活動を行った。</p> | | | |
| ・水生生物観察会 | 平成30年8月5日 | 15人 | |
| ・アサギマダラマーキング会 | 平成30年11月11日 | 11人 | |
| ・西部地域のヤクシマザル | 平成30年12月17日 | 22人 | |
| <p><幼児環境教育推進事業> 町内未就学児の親子を対象に野外体験活動を実施し、幼少時代から環境意識を向上させる。</p> | | | |
| ・秋の森deまったりおさんぽの会 | 平成30年11月10日 | 27人 | |
| ・森のものdeうきうき音箱づくりの会 | 平成30年12月15日 | 30人 | |
| ・焚火deほくほく焼き芋の会 | 平成31年2月2日 | 32人 | |
| ・テントdeわくわくキャンプ | 平成31年3月2日 ～3日 | 14人 | |

ウ インターンシップ

インストラクターに必要な資質や技能を高めるため、平成30年8月1日から15日までフライブルク大学の修士課程生1名と8月24日から9月6日まで、岩手大学の学生1名を、屋久島環境文化研修センターで職場体験をさせた。

② 受入事業

人と自然との関わりを理解し、環境保全への意識を高めるため、財団が作成した研修プログラムを活用する宿泊研修、一日研修及び短時間研修を行った。

また、鹿児島大学教育センターとの教育協定に基づき、同大共通教育課程で実施する集中講座「屋久島の環境文化」の講義において、環境文化に対する学生の理解を深めるため、屋久島をフィールドとする支援活動を行った。

| 区分 | 団体数 | 参加者数 |
|-------|-------|--------|
| 宿泊研修 | 59団体 | 4,089人 |
| 一日研修 | 43団体 | 1,362人 |
| 短時間研修 | 7団体 | 70人 |
| 合計 | 109団体 | 5,521人 |

③ 屋久島高校環境学習・交流支援

屋久島高等学校環境コースの生徒を対象に、屋久島・口永良部島の自然、歴史、文化について理解を深めてもらうため、宿泊型の環境学習に関する研修に対し、支援を行った。

| 名称 | | | |
|--------|-------------------|---------------------|------|
| | 内容 | 開催日 | 参加者数 |
| 夏季研修 | | | |
| | 屋久島の地質巡検 | 平成30年7月10日 ～11日 | 8人 |
| 口永良部研修 | | | |
| | 口永良部島の自然・文化・災害対策 | 平成30年8月8日 ～10日 | 8人 |
| 秋季研修 | | | |
| | 屋久島の植物相 | 平成30年10月16日 ～17日 | 8人 |
| 冬季研修 | | | |
| | 屋久島の民俗文化・環境への取り組み | 平成31年1月22日 ～23日 | 7人 |

- ④ 出張屋久島講座
町内の児童・生徒に，屋久島の環境学習を行った。

| 名称 | | | |
|---------------------------------------|----------------|------|------|
| 内容 | 開催日 | 参加者数 | |
| ・屋久島の神話・昔話講座（岳南中学校1～3年生） | | | |
| 屋久島に伝わる神話（一本宝珠大権現等），語り部が語り継ぐ民話等 | 平成30年5月12日 | 103人 | |
| ・一日登山遠足の事前指導（岳南中学校1～3年生） | | | |
| 黒味岳登山に当たっての，登山装備や安全に登山するための注意事項等 | 平成30年6月19日 | 103人 | |
| ・総合的な学習・環境教育（金岳小中学校） | | | |
| 口永良部島の川の生き物の採取や同定の仕方，飼育の仕方等 | 平成30年6月14日～15日 | 22人 | |
| ・総合的な学習（安房中学校1年生） | | | |
| エビの形態観察，川エビの試食会等（講師 鹿児島大学水産学部教授 大富 潤） | 平成30年7月12日 | 44人 | |
| ・総合的な学習（安房小学校5年生） | | | |
| エビの形態観察及び生態の学習（講師 鹿児島大学水産学部教授 大富 潤） | 平成30年7月13日 | 28人 | |
| ・総合的な学習（一湊小学校3～4年生） | | | |
| エビの形態観察及び生態の学習（講師 鹿児島大学水産学部教授 大富 潤） | 平成30年12月4日 | 27人 | |
| ・総合的な学習（宮浦小学校3～4年生） | | | |
| エビの形態観察及び生態の学習（講師 鹿児島大学水産学部教授 大富 潤） | 平成30年12月5日 | 78人 | |
| 合計 | | 7回実施 | 405人 |

- ⑤ 屋久島研究講座
町内在住者を対象に，屋久島の自然や文化に関する理解の促進・普及を図り，その未来を担っていく人材を育成するため，屋久島をフィールドとして調査・研究している研究者や専門家を講師とする講座を開講した。

| 演題 | | | |
|--|------------|--------------------|------|
| 講師 | 開催日 | 開催場所 | 参加者数 |
| 西郷南洲翁の魅力～南島で育んだ敬天の心～ | | | |
| 西郷南洲顕彰館館長 徳永和善 | 平成30年5月13日 | 屋久島離島開発総合センター一湊集落内 | 48人 |
| ウィルソンが見た戦前の沖縄 | | | |
| 作家 古居智子 琉球新報文化部 部長 米倉外昭 奈良大学 名誉教授 鎌田道隆 | 平成30年7月21日 | 屋久島環境文化村センター | 48人 |

| 演題 | | | |
|--------------------------------------|-------------|--------------|------|
| 講師 | 開催日 | 開催場所 | 参加者数 |
| ホームマウンテンから広がる山登り・山と自然を安全に楽しむために | | | |
| 登山家 花谷泰広 日本山岳ガイド協会 理事長 磯野剛太 | 平成30年11月23日 | 屋久島環境文化村センター | 65人 |
| 「世界自然遺産・白神山地」白神ガイドが語るブナと水と癒しの森 | | | |
| 白神山地ガイド 後藤千春 | 平成30年11月24日 | 屋久島環境文化村センター | 38人 |
| 森林リモートセンシングの最前線とヤクスギ巨木林調査の可能性 他 | | | |
| 屋久島学ソサエティ | 平成30年12月15日 | 屋久島町総合センター | 125人 |
| 屋久島のニホンザル歴史と多様性をひもとく | | | |
| 屋久島学ソサエティ | 平成30年12月16日 | 屋久島町総合センター | 100人 |
| 原生自然環境保全地域の植生の継続調査 | | | |
| 鹿児島大学准教授 相葉慎一郎 | 平成31年 2月23日 | 屋久島環境文化村センター | 41人 |

(2) 環境形成

① 環境保全活動支援事業

ア 山岳部利用対策事業

屋久島の山岳部荒廃を防ぐため、登山者へのマナー指導（平成30年5月2日、8月12日）やマナーガイドブック（英語版）等の作成及び配布を行い、「屋久島山岳部環境保全協力金」の周知・広報を行った。

また、関係機関と連携して、荒川登山道の安全点検（平成30年7月24日）を実施した。

イ エコツーリズム支援事業

屋久島におけるエコツーリズムの取り組みを推進するため、屋久島町エコツーリズム推進協議会へ参加し、支援を行った。

その他、自然体験活動指導者（NEAL）養成団体として、広く町内外から希望者を募り自然体験活動指導者養成講習会を行った。

| 区分 | 開催日 | 参加者数 |
|------------------------------|----------------|------|
| 自然体験活動指導者（NEAL）リーダー養成講習会 | 平成30年6月16日～17日 | 8人 |
| 自然体験活動指導者（NEAL）インストラクター養成講習会 | 平成31年2月18日～21日 | 3人 |

ウ 生物多様性保全事業

環境保全の意識向上のための啓発活動等に取り組んでいる団体に対する支援や、屋久島の生物や環境保全をテーマに調査・研究する研究者に対し、助成を行った。
また、島内で問題となっているシカ被害の状況調査について、支援を行った。

| | |
|---------------------------------|--|
| 団体等名 | 調査研究等内容 |
| 大阪市立自然史博物館学芸員 長谷川匡弘 | 屋久島高地における開花植物－訪花昆虫ネットワークの解明 |
| 鹿児島大学大学院理工学研究科准教授 相葉慎一郎 | 屋久島の異なる標高にある原生的森林長期動態 |
| 子々孫々の口永良部島を夢見るえらぶ年寄り組代表 山口英昌 | 「ボランティア体験・学習キャンプ」実施による口永良部島の生物多様性の調査・保全，啓発 |
| 屋久島ラン科植物保全の会（鹿児島大学連合農学研究科内）蘭光健人 | 屋久島に自生する希少着生植物の多様性評価 |

エ うみがめ保護対策事業

うみがめの産卵・孵化場所である海浜の環境を保全するため、遮光林の維持管理を行うとともに、関係機関と協力して保護柵の設置やふ化調査、海岸清掃を行った。

- うみがめ保護遮光林維持管理

| 委託先 | 委託期間 | 実施場所 |
|------------------------|-------------------------------|-------------------------|
| 永田ウミガメ連絡協議会 会長 計屋圭宏 | 平成30年5月25日 ～ 平成31年1月31日 | 永田（いなか浜） 一湊（一ツ浜，二ツ浜） |

- 海浜の清掃活動

| 主催団体 | 実施日 | 実施場所 |
|--------------|------------|----------|
| 永田浜ウミガメ保全協議会 | 平成30年4月20日 | 永田（四ツ瀬浜） |

- マリンワーカー事業

環境省から委託を受け、屋久島の主要な海岸において、地元住民及びボランティア等と連携して美化作業を行い、優れた海岸景観の保持及びウミガメ繁殖環境の保全を行った。

| 実施団体 | 実施日 | 実施場所 | 参加者 |
|------|-------------|--------|-----|
| 永久保区 | 平成30年7月22日 | 田代海岸 | 41人 |
| 栗生区 | 平成30年8月19日 | 塚崎海岸 | 50人 |
| 永田区 | 平成30年11月11日 | いなか浜海岸 | 76人 |

② 屋久島動植物調査等事業

自然保護の普及活動を推進するため、環境学習や自然観察の資料として活用されている、財団発行のガイドブック「屋久島のコケガイド」を改訂し発行した。また、「屋久島の野鳥ガイド」の改訂準備のための調査・研究を行った。

(3) ネットワーク形成

① ボランティアネットワークの形成

ボランティア活動の活性化を図るため、環境文化ボランティアの登録、ボランティア団体の支援、ボランティア活動に関する情報発信を行った。

・ 環境文化ボランティアの活動（登録者数41名）

| 実施日 | 内容 | 参加者数 |
|-------------|--------------------------|------|
| 平成30年4月16日 | 大型客船（ばしふいっくびいなす）見送り | 5人 |
| 平成30年4月19日 | 大型客船（ばしふいっくびいなす）見送り | 4人 |
| 平成30年6月24日 | 研修センターオープンデー | 5人 |
| 平成30年7月8日 | 一湊（一ツ浜）海岸清掃（シャボン玉石けんと共同） | 4人 |
| 平成30年7月22日 | 村せん祭り | 5人 |
| 平成30年7月25日 | 大型客船（ばしふいっくびいなす）見送り | 4人 |
| 平成30年8月10日 | 大型客船（ばしふいっくびいなす）見送り | 5人 |
| 平成30年9月26日 | 大型客船（ばしふいっくびいなす）見送り | 2人 |
| 平成30年10月31日 | 大型客船（ばしふいっくびいなす）見送り | 5人 |
| 平成30年11月13日 | 大型客船（ばしふいっくびいなす）見送り | 3人 |
| 平成31年3月17日 | 大型客船（ばしふいっくびいなす）見送り | 3人 |

・ 企業ボランティアの活動

| 企業名 | 実施日 | 内容 | 参加者数 |
|--------------|-------------|-------------|------|
| シャボン玉石けん株式会社 | 平成30年7月8日 | 一湊（一ツ浜）海岸清掃 | 33人 |
| 株式会社伊藤園 | 平成30年10月13日 | 吉田海岸清掃 | 8人 |
| アサヒビール株式会社 | 平成30年10月27日 | 白谷雲水峡 | 2人 |

※ 参加者数は財団ボランティア等を含む。

・ ボランティア団体への支援

| | |
|-----------------------|--|
| 団体等名 | |
| 活動内容 | |
| 屋久島パークボランティアの会 | |
| 屋久島国立公園内の美化清掃，動植物の保護等 | |

② 屋久島ファンクラブの運営・加入促進

屋久島ファンクラブの加入促進や認知度向上のために、町内外の事業所などへ勧誘活動を行った。また、ファンクラブ会員等に向けた財団イベント情報等の発信を行った。

| | |
|---------------|------|
| 屋久島ファンクラブ会員数 | 888人 |
| うち平成30年度新規加入者 | 174人 |

③ 財団情報の発信誌発行

ア 財団会報「屋久島通信」(A4版, 8ページ)の発行(3,000部/号)

全国の屋久島ファンクラブ会員及び関係機関に対して、屋久島の情報を提供した。

| 号数 | 発行時期 | 主な内容 |
|------|----------|----------------------|
| 第69号 | 平成30年7月 | ヤクタネゴヨウ全木調査完遂 |
| 第70号 | 平成30年11月 | 「コケの聖地」屋久島の魅力 |
| 第71号 | 平成31年3月 | 屋久島と2人 — 兼高さんと梅原さん — |

イ 財団機関紙「まるりん通信」の発行(6,500部/月)

毎月1回町内の全戸に配布し、財団の活動状況を紹介するとともに、中核施設への来館、イベントへの参加を呼びかける情報発信を行った。

④ 研究者ネットワークの形成

町内在住者や来島した研究者等へ情報提供を行うとともに、研究者や専門家による調査・研究内容を町民に紹介する場(屋久島研究講座等)を設け、地元への還元を図った。

(4) 屋久島地域づくり支援

① 里のエコツアー推進事業

ア 屋久島里めぐり推進協議会

- ・ 協議会事務局の運営と里のエコツアーを実施した。
- ・ 世界自然遺産登録候補地である奄美地域のまち歩き団体等と会議を行い、更なる連携を深めた。
- ・ 里めぐり集落の語り部(主に初心者)が、12月に、肝付町の「肝付ふるさと案内人」及び鹿児島市桜島町の「桜島ミュージアム」で研修し、スキルアップを図った。
- ・ 情報誌(屋久島MAP・るるぶ屋久島)に里めぐり情報を掲載し、更なる啓発を図った。

(参考) 屋久島里めぐり推進協議会

- ・ 会員
屋久島町, 財団, 集落(永田, 吉田, 一湊, 宮之浦, 春牧, 平内, 中間)
- ・ 目的
屋久島の山岳部へ集中する観光の在り方を見直し、屋久島の里地へ観光の幅を広げ、新たな観光と地域振興の仕組みづくりを進める。

- ・ 屋久島里めぐり参加者数（受入回数）

| 集落名 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|-----|------------|------------|--------------|
| 吉 田 | 103人（20回） | 165人（24回） | 504人（38回） |
| 宮之浦 | 167人（44回） | 216人（45回） | 260人（46回） |
| 春 牧 | 111人（22回） | 93人（27回） | 253人（32回） |
| 平 内 | 16人（5回） | 40人（11回） | 67人（11回） |
| 中 間 | 72人（17回） | 17人（9回） | 51人（9回） |
| 永 田 | 92人（25回） | 114人（23回） | 131人（23回） |
| 一 湊 | 82人（18回） | 142人（24回） | 231人（28回） |
| 合計 | 643人（151回） | 787人（163回） | 1,497人（187回） |

イ のんびりゆったり里のエコツアー

- ・ 口永良部島エコツアー

広く全国から参加者を募り、自然環境に負荷を与えない口永良部島の里地の暮らしや伝統文化等について体験できるエコツアーを実施した。

開催日 平成30年7月14日～15日

参加者数 16人

- ・ 楠川エコツアー

地域住民と参加者が一体となり、楠川の歴史や文化を再認識し、地域の活性化を図るため、里のエコツアーを実施した。

開催日 平成30年12月16日

参加者数 31人

② 屋久島の里づくり推進事業（地域振興推進事業）

ア 屋久島の里の発掘・記録事業

屋久島の自然・文化・歴史などの地域資源や伝統文化を次世代に引き継ぎ、持続的に活用して地域の活性化につなげるため、各集落の地域資源を「自然」、「伝統行事」、「民俗芸能」、「名所・旧跡」、「暮らし」、「産業」及び「事業」の7項目に分けて、発掘・記録化を行った。

実施集落 小島，原，高平，小瀬田，梶川

イ 屋久島の里の説明看板設置事業

里地を中心とした着地型観光の確立と屋久島の里の魅力を発信するため、屋久島各集落の名所・旧跡等に説明看板設置を行った。

実施集落 小島，原，高平，小瀬田，梶川 各2基

船行，永田，吉田，一湊，宮之浦，春牧，平内，中間 各1基

③ 地域づくり支援事業

伝統文化の継承と環境文化意識の高揚を図り、集落の伝統文化行事等を発掘し、地域資源を保全するため、各集落に伝わる伝統芸能保存会や優れた芸術活動を行っている団体等の支援を行った。

また、環境保全・環境教育に関わる子供たちの育成や地域づくりを促進するため、各種イベントや行事、地域の子供たちへのスポーツ活動等に支援を行った。

| | |
|------------------------------------|--|
| 団体等名 | |
| 活動内容 | |
| NPO法人屋久島エコフェスタ代表 田平拓也 | 屋久島町有形文化財「楠川区有文書」を広く人々に紹介するための正確な目録作成 |
| 屋久島選抜チーム後援会会長 荒木耕治 | 全国離島交流中学生野球大会屋久島選抜チーム支援（平成30年8月7日～11日 種子島） |
| 登る屋久島実行委員会 藤山幸赴 | 登山家による講演会 |
| 屋久島山岳ガイド連盟 古賀顕司 | 世界自然遺産登録25周年記念 白神山地ガイドによる講演会 |
| 西村徳文（オリックス・バファローズ監督）講演会及び野球教室実行委員会 | 西村徳文監督講演会～演題『和』～及び野球教室 |

④ 特産品開発事業

地元食材を利用した郷土料理や新しいメニュー開発などを行う屋久島里めぐりの「食」の提供に対する支援を行った。

また、県外の物産展に参加し、屋久島の特産品の普及啓発を行った。

(5) 国際交流

① 日新交流支援事業（23年度～，8回目）

屋久島町が「縄文杉」とニュージーランドの「タネマフタ」との姉妹木盟約締結を契機として町内中学・高校生を派遣する事業に際し、渡航に必要な経費の一部の支援を行った。

渡航期間 平成30年7月26日～8月13日

参加者数 中学生2人 高校生3人

② 留学生ホームステイ受入事業（24年度～，7回目）

町内在住者と外国人の異文化交流を図るため、鹿児島大学の留学生を町内家庭で受入れ、屋久島の文化や暮らしの体験、町内在住者との交流活動等を行った。

受入期間 平成30年8月25日～27日

参加者数 7人（男1人 女6人）

受入世帯 4世帯

2 中核施設管理運営事業

(1) 中核施設管理運営

屋久島環境文化村中核施設である屋久島環境文化村センター及び屋久島環境文化研修センターの管理運営業務を県から受諾（指定管理者）し、その適切な管理を行うとともに、経費節減による効率的な運営及び施設設備の補修等の維持管理に努めた。また、両施設の利用者増を図るため、各種利用促進施策を実施した。

① 村センター管理運営

入館者

| 区分 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 対前年度比 |
|----------|---------|---------|---------|-------|
| | | | | |
| 入館者数 | 84,169人 | 93,054人 | 70,944人 | 76.2% |
| うち有料観覧者数 | 22,295人 | 24,262人 | 16,467人 | 67.8% |

貸出施設

| 区分 | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|---------|--------|------|--------|------|--------|------|
| | 利用回数 | 延べ日数 | 利用回数 | 延べ日数 | 利用回数 | 延べ日数 |
| レクチャー室 | 44回 | 49日 | 65回 | 77日 | 70回 | 78日 |
| 交流ホール | 3回 | 44日 | 4回 | 99日 | 8回 | 181日 |
| 大型映像ホール | 4回 | 4日 | 3回 | 3日 | 3回 | 3日 |

ア 施設利用促進施策

- ・ 鹿児島港南ふ頭や高速船ターミナル、宮之浦港、安房港、町内宿泊施設等にポスターを配付、掲示した。
- ・ 町内宿泊施設等への屋久島環境文化村センター案内リーフレットの配付、宿泊者への割引制度の実施や定期的に宮之浦港の高速船及びフェリー乗り場で到着時に誘客活動を行った。
- ・ 県外のエージェントを訪問し、誘客を図った。
- ・ 大型客船の入港時に誘客活動を行うとともに、お見送りも行った。
- ・ 島内外のイベント（産業祭り、オープンウォータースイミング、かごしま屋台村イベント、西郷どん大河ドラマ館イベント、関西鹿児島ファンデー他）に参加し、財団の啓発を行った。

イ 開館22周年記念イベント

| 開催日 | 内容 | 参加者数 |
|------------|------------------------------------|------|
| 平成30年7月22日 | 島民感謝デー (施設の無料観覧・平成30年7月21日～31日) | 146人 |
| | 映画会「スマーフ」 | 230人 |
| | 工作(灯籠, 自然, うちわ)・撮影会・かき氷無料配布 | 250人 |

ウ 交流ホール展示

| 開催日 | 内容 | 備考 |
|-----------------------|------------------------------|-------|
| 平成30年4月1日 ～4月26日 | 屋久島の里を知ろう「中間集落」展 | 特別企画展 |
| 平成30年4月27日 ～5月16日 | 向井晶子絵画展 | |
| 平成30年6月1日 ～6月30日 | 栗生草木の椿の花炭展 | |
| 平成30年7月21日 ～8月31日 | 「ウィルソンが見た沖縄」屋久島巡回展 | 特別企画展 |
| 平成30年7月21日 ～9月9日 | 「屋久島和紙」研究会の展覧会（8がつ展） | |
| 平成30年9月1日 ～9月30日 | 屋久島の里を知ろう「平内集落」展 | 特別企画展 |
| 平成30年10月2日 ～10月28日 | たにけいこ絵詩集展 | |
| 平成30年11月1日 ～11月8日 | 千々岩孝道屋久島写真祭 | |
| 平成30年11月8日 ～11月20日 | レクリエーションの森保護管理協議会 小中学生作文展 | |
| 平成31年1月2日 ～2月17日 | 屋久島の里を知ろう「永田集落」展 | 特別企画展 |
| 平成31年2月21日 ～3月19日 | 屋久島和紙研究会「如月の柳絮展」 | |

エ 映画上映会

地元財団賛助企業「屋久島電工株式会社」からの費用助成により、映画上映会を実施し、地元住民福祉向上とともに、利用促進を図った。

| 開催日 | 映画名 | 来場者数 |
|-------------|-------------------------------|-------------|
| 平成30年5月26日 | 怪盗グルーのミニオン大脱走 | ①230人 ②230人 |
| 平成30年9月21日 | モアナと伝説の海 | 230人 |
| 平成30年12月15日 | それいけ！アンパンマン かがやけ！クルンといのちの星 | ① 50人 ② 50人 |

② 研修センター管理運営
利用者

| 区分 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 対前年度比 |
|------|--------|--------|--------|-------|
| | | | | |
| 利用者数 | 7,009人 | 8,055人 | 8,004人 | 99.3% |

貸出施設

| 区分 | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|------|--------|------|--------|------|
| | 利用回数 | 延べ日数 | 利用回数 | 延べ日数 | 利用回数 | 延べ日数 |
| レクチャー室 | 4回 | 4日 | 10回 | 10日 | 13回 | 13日 |
| 視聴覚室 | 2回 | 2日 | 8回 | 8日 | 5回 | 5日 |

ア 施設利用促進広報

- ・ 岩手県，宮城県，福島県のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）や環境教育に力を入れている学校等を訪問し，研修センターの環境学習プログラムを紹介して施設利用促進を図った。
- ・ 冬季対策として町内の未就学児の親子を対象とした一日研修・宿泊研修や町民向けの一泊型セミナーなどを行った。

③ 財団ホームページ管理運用と情報発信

財団ホームページの適正な管理運用を行うとともに，フェイスブックの活用，メールマガジンの発信により，日々新しい屋久島や財団の情報発信に努めた。

④ 教育機関との連携

教職員及び生徒の体験学習を積極的に受け入れ，財団を知ってもらうとともに，郷土の良さや環境等へ視野を広げる取り組みを実施した。

安房小学校 教諭1名 中央中学校 教諭1名 屋久島高等学校 教諭2名
 中央中学校 生徒1名 安房中学校 生徒1名

【収益事業会計】

書籍物品等販売事業

財団の収益を確保し、公益目的事業を推進するため、屋久島環境文化財団オリジナルグッズ（マスキングテープ、キャラクターシール、里に特化したポストカード）、屋久島WAONカード、クオカード等や屋久島関連書籍等の販売を行った。また、オリジナル手ぬぐいのリニューアルをした。

【法人会計】

管理費

本部管理費

① 本部管理費

ア 理事会・評議員会

理事会、評議員会を開催し、財団の諸課題等について協議した。

イ 管理運営

財団の効率的な管理運営に努めるとともに、屋久島町内並びに福岡市、北九州市及び広島市で企業訪問を行い、財団の業務概要の説明と賛助企業への加入依頼を行った。

② 職員スキルアップ事業

研修課インストラクターをインタープリターズキャンプ、各種セミナー、講習会等に派遣し、インストラクターのスキルアップを図った。

平成30年度事業報告書の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。